

幼稚園から高校までを桐朋で過ごし、
慶應義塾大学総合政策学部（SFC）へ進学。
在学中に株式会社ハピキラFACTORYを起業。
大学卒業後は株式会社リクルートキャリアに就職。
ハピキラとの二足のわらじで働きながら、
さらなる新しい挑戦をし続けている。

楽しいと思うことをやる。
気がついたたらそれが
「起業」という挑戦に
つながっていた。

株式会社ハピキラ FACTORY 創業・経営

65期青 山本 峰華

※ハピキラFACTORYは・・・

「地方×女の子」ビジネスの第一人者
として「かわいい」を入り口に、地方を
元気にしていく会社。
地方にある魅力的な商材をかわいらしく
プロデュースし、発信していくことで、
女の子たちが地方に興味を持つ
きっかけをつくろうと活動している。

アナウンサーだった祖父の影響もあり、中高では放送部に所属。
個人でもアナウンス部門で様々な大会で入賞することで、自分に対する自信
をもらいました。中高6年間では、個性を認め合う桐朋ならではの環境
の中で思い切り羽を広げ、リーダーシップの能力が花開きました。

大学は、自分の行動力を活かす場所としてSFC（慶應湘南藤沢キャンパス）を
選びました。SFCでは桐朋での出会いを超えるたくさんの出会いがありました。

2012年、訪問した長野県小布施町での様々な出会いから小布施若者会議を創設。
銘菓『栗かの子』を売り込むために(株)ハピキラFACTORYを立ち上げました。
やりたいことを形にしようと思ったら「起業」という挑戦になりました。

今動き始めた新しい企画は、大企業とのコラボレーション。日本中の女子大生が
地方の一次産品をプロデュースする機会をつくり、それを地方創生につなげていき
たいです。